

◎ニトロール持続静注 25mg シリンジ [注]

【重要度】 【一般製剤名】硝酸イソソルビド isosorbide dinitrate 【分類】硝酸イソソルビド製剤

【単位】◎25mg/50mL シリンジ (0.05%)

【常用量】■急性心不全：1.5～8mg/hr [最大 10mg/hr] ■不安定狭心症：2～5mg/hr

【用法・用量】点滴静注

【透析患者への投与方法】減量の必要なし (1,3,6)

【保存期 CKD 患者への投与方法】減量の必要なし (1,3,6)

【特徴】グアニル酸シクラーゼを活性化し、cGMP の産生を高め血管を拡張、動脈系と静脈系をバランスよく拡張し、血圧を下げすぎない。点滴静注により、急性心不全の血行動態を速やかに改善し、不安定狭心症の狭心発作回数を軽減もしくは消失させる。

【主な副作用・毒性】ショック、心室細動、心室頻拍、血圧低下、めまい、動悸、四肢浮腫、心拍出量低下、頭痛、嘔気、嘔吐、動脈血酸素分圧の低下、肝障害、徐脈、期外収縮、心房細動、全身倦怠感、興奮、食欲低下など

【代謝】肝で代謝され、一部の代謝物には活性がある (1)

【排泄】未変化体排泄率 0.016%、ほぼ完全に代謝され主に尿中に排泄される (1) 99%が代謝産物として尿中排泄 (1) 【CL】134.0L/hr (1) 2450mL/min (10) 25mL/min/kg (15) 【非腎 CL/総 CL】100% (10)

【t_{1/2}】平均 1hr [35min～2hr] (11) 2相性に消失し、分布相 6.3min、消失相 109min (1)

【蛋白結合率】38～41% (1) 30%以下 (11) 32～41% (15)

【Vd】1.5L/kg (10) 100～600L/man (11) 1.8L/kg (15) 124.0±51.2L/man (1)

【MW】236.14

【透析性】除去率 44～60% (1) 除去率 7% (15)

【TDM のポイント】TDM の対象にならない【O/W 係数】資料なし (1)

【併用禁忌】PDE5 阻害作用との併用禁忌 (1)

【禁忌】重篤な低血圧又は心原性ショックのある患者〔血管拡張作用によりさらに血圧を低下させ、症状を悪化させるおそれがある〕、Eisenmenger 症候群又は原発性肺高血圧症の患者〔血圧低下によりショックを起こすことがある〕、右室梗塞の患者〔血圧低下によりショックを起こすことがある〕、脱水症状のある患者〔血圧低下によりショックを起こすことがある〕、神経循環無力症の患者〔本剤の効果がなく、本剤投与により血圧低下等があらわれることがある〕、閉塞隅角緑内障の患者〔眼圧を上昇させるおそれがある〕、硝酸・亜硝酸エステル系薬剤に対し過敏症の既往歴のある患者、頭部外傷又は脳出血のある患者〔頭蓋内圧を上昇させるおそれがある〕

【更新日】20141227

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、

直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。